

浜コ三協だより

令和4年度

第19号

●「浜コ三協」は「浜浦小学校区コミュニティ協議会」の略称です。●この広報誌は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。

子ども達と共に、笑顔あふれる地域に！

会長 池田 伸一



浜浦小学校区コミュニティ協議会（以下「浜コ三協」という。）会長の池田です。会長職を引き受けて2年目になります。今年も新型コロナウイルスの感染防止対策と自治会活動など地域活動との両立が問われた難しい年になりました。長くマスクの着用や町内活動の自粛など感染症対策の影響で、地域住民同士の交流やつながりが薄れ、孤立感などが広がっていると感じています。

そこで、地域住民の親睦や交流を深め地域の一体感を醸成したいという思いから、これまで浜コ三協の先輩たちが頑張つて開催してきた合同演奏会やフロアカーリング大会、関屋浜の海岸清掃を3年ぶりに開催したいと思いましたが、合同演奏会の会場は、コロナ禍の中、関屋中学校の協力が得られ同校の体育館をお借りすることができましたが、

3年ぶりの開催とコロナ対策のため、役員を始め浜コ三協全員の皆さんが打ち合わせを重ね、何とか無事に開催することができました。アンケート結果からも演奏された方々や参加された地域の皆さんに喜んでもらえたものと思っています。特に子供達の素晴らしい演奏に元気をもらえたと多くの方から言ってもらえました。また、関屋浜の海岸清掃は、コロナ前とやり方を変え浜浦小学校の学校行事「なかよし遠足」の中で1年生から6年生までの全校児童が保護者や各町内会の皆さんの見守りの中、上級生が下級生に声をかけ、助け合つて、短時間ではありましたが自分達の地域の海岸を少しでもきれいにすることができました。何よりも全校児童の皆さんの生き生きと元気に活動する姿に、地域の皆さんもいっばい元気をもらいました。12月に開催したフロアカーリング大会も大勢の子供達、地域の皆さんから参加して頂き、子供から

大人まで一緒に競い、楽しむことができました。いずれもコロナ禍の中で3年ぶりに開催することができたのも参加された皆様、開催に協力して頂いた皆様、そして浜コ三協の皆さまのお陰です。改めて皆さまに心からお礼を申し上げます。



部会報告 — その3

認知症サポーター養成講座

福祉・教育部会 部長 遠山 恒夫

認知症サポーター養成講座を開催しました。講師は新潟医療生活協同組合コープケアカレッジの手塚美恵子様です。印象に残ったことを紹介します。一、昨日の食事で何を食べたのかを思い出せないのは「物忘れ」。認知症ではない。食事をしたことを忘れるのが認知症。二、認知症の人は、一日に何度か「今日は何日」と聞くことがあるが、本人はいつも初めて聞いている意識である。だから、こちらから初めて聞いたこととして答えてあげてください。難しいです。三、講師のお母さんが認知症になられたのですが、講師でも母が認知症であることを認めることができなかつた。それが、とても難しいのです。



部会報告 — その1

協働の森づくりと海岸清掃活動

環境整備部会 部長 白井 強

私たちの部会は、汐見台を中心とした西海岸公園、海浜植物園、そして海岸線で自然環境に大きくかわって活動しています。今年度から、森づくりは第2ステージに入り活動も変化してまいりました。

(1) 4月16日(土)「松林の保全・再生の勉強会」を松波町3で行われている土壌改善の方法・効果を現地16名の参加で開催。
(2) 6月11日(土)「子供の松林」でガールスカウトと大切な松林を未来へ引き継ぐよう「根っこから元気にするぞ」作戦を30名の参加で土壌の環境改善を行いました。



(3) 9月1日(木) 浜浦小学校4年生の「森づくり」総合学習として授業が行われ、浜コミ

部会報告 — その4

災害に備えて

防災部会 部長 渡邊 俊英

最近の日本列島は地震や台風の他に線状降水帯による猛烈な雨が頻りに発生する事態になっている。それらの災害から身を守るためにどう対応すればいいのか、キーワードは「備えあれば憂いなし」。

- 1 ハザードマップで住んでいる地域を確認し、災害ごとのリスクを把握する。
2 災害の種類に応じた避難所や避難経路・避難方法を確認する。(避難場所だけでなく、親戚・知人宅、自宅での避難が可能か検討する。)
3 各家庭が非常持ち出し品を確認し準備する。(日常生活に備蓄品を組み込み、消費したら補充をし、切らさないように取りくむ。キャンプ用品の活用も考慮。)
4 家具の転倒防止対策の徹底。(使用中の家具をよく点検して安全策を講ずる。)
5 地域の防災訓練に積極的に参加する。(生活基盤が失われたら頼るは横のつながり、普段から地域の人ひと顔の見える関係を築く。)
6 正確な情報収集に努める。



(4) 9月12日(月) 同学年生徒さん63名で平成25年植樹した(9年目) 松の枝をノコギリで除伐体験作業を実施しました。ボランティアを含め91名の参加でした。(5) 9月21日(水)

協から田村顧問が「防風林、防砂林を考える」をテーマに講師をされ、続いて
浜浦小学校「なかよし遠足」、浜小青育協、そして浜コミ協が初めてのタイアップをして生徒さん361名の縦割り班ごとにボランティア(海岸清掃担当)が付き、皆さん一緒に一斉懸命海岸のごみを拾う事が出来ました。参加436名でした。

部会報告 — その2

トリットボール大会と新潟シティマラソン支援

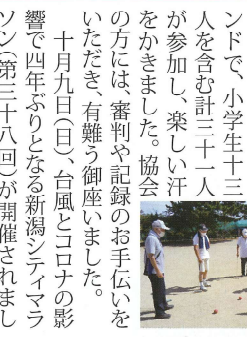
文化スポーツ部会 部長 阿部 修一

令和2年・3年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、当部で計画した事業が実施できませんでした。今年度は、九月にトリットボール大会、十月に新潟シティマラソン支援(ボランティア)を行いました。



トリットボールは、ゴルフの楽しさとゲームボールの手軽さをミックスした、新潟生まれのニュースポーツで、子供から高齢者まですぐにプレーできます。三・四人でプレーし、一ホールを三打で入れるのが基本です。今回は十二ホールに縮小しました。

午前中、浜浦小グラウンドで、小学生十三人を含む計三十一人が参加し、楽しい汗をかきました。協会の方には、審判や記録のお手伝いをいただき、有難う御座いました。十月九日(日)、台風とコロナの影響で四年ぶりとなる新潟シティマラソン(第三十八回)が開催されました。



体力が消耗する距離後半のボランティアで、ランナーが苦しさで勝てるように、みんなで大きな拍手で見送りました。

部会報告 — その5

中央区長 ミーティングの報告

11/28(月) 浜コミ協の定例会で中央区の日根区長以下5名の方々をお迎えし区長ミーティングを行いました。事前に取りまとめた浜コミ協からの地域課題や意見要望に対して中央区長から丁寧な説明や回答がありました。



- 1. 区民協働森づくり事業と海浜植物園の整備について
(1) 「クロマツを中心に常緑広葉樹の混合林」形成について約10年かけて地域や子ども達などと協働して植えてきたクロマツの苗も3メートルぐらいに成長し、今年度はみんなで除伐作業を行いました。これから立派な防風林に成長するように除伐作業や下草刈りを協働で行ってまいります。また広葉樹との混合林は保安林の内陸側に成長観測ができる場所を検討していきます。
(2) 海浜植物園の整備について海浜植物園における海浜植物の花の植栽や草刈り等、地域

の皆さんとの協働作業は、前向きに進めて行きたい。今年度は3月に海浜植物の植栽を実施する方向で計画している。これに対して「現在、月2回のボランティアに維持管理を任せているのでは植物園としての整備ができない。検討して頂きたい」という意見がありました。

2. 関屋地区公民館の再編統合案について
関屋地域は関屋コミュニティハウスと関屋地区公民館と2つのコミュニティ系施設の利用率が100%未満で1施設存続の評価となつていく。今後はこの再編案を検討のたたき台に、ワークショップ等を通じて、地域の方等のご意見をお聴きしながら地域事情を反映させ、施設の再編計画にあたる地域別実行計画を地域と協働で策定した上で進めたい。



コミュニティ・スクールが始まって

少しずつ歩み始めています



浜浦小学校
校長 齋藤 純一

いつも浜浦コミュニティ協議会をはじめとする地域の皆様には、当校の教育活動への御理解と御支援をいただき、本当にありがとうございます。当校の子どもたちが、安心して学校に通い、思い切り学習に取り組めるのも、保護者の皆様とともに、地域の皆様に温かく見守られているのおかげだと、日々感謝しております。

さて、当校では、これまでコロナウイルス感染症拡大のために中止していた「地域と歩む活動」を、感染予防を徹底しながら、今年度少しずつ実施することができました。

1 砂防林 除伐の実施
中央区役所が行っている「区民協働森づくり事業」に、四年生が参加しました。学校裏の砂防林をより良く育てるための除伐作業を、地域と

2 海岸清掃の実施
9月21日(水)に、大勢の地域と保護者のボランティアのお力を借りながら行いました。9月24日(土)には新潟市で開催された「開港五都市景観まちづくり会議」に参加し、これまでの取り組みを「函館・新潟・横浜・神戸及び長崎の五都市の皆様」に紹介することができました。「自分たちの住む地域をより良くする」という意識を、子どもたちにもち始めています。

3 防災教室の実施
10月22日(土)に当校の体育館で、全校児童と、参加を希望された地域と保護者の皆さんにも参加していただきながら、防災教室を行いました。中央区役所 総務課の青田さんと米倉防災士さんからのお話をお聞きしました。「自分たちの住む地域の一員として、災害から自分の命を守る」ということを考えさせる機会となりました。

間もなく令和4年度が終わりです。今年も新型コロナウイルスに翻弄される年でした。世界中に新型コロナウイルスが猛威を振るい3年余が経過しました。この間、社会生活は様々なことが中止・変更を余儀なくされました。当然、学校生活も同様であり、生徒・保護者・地域には気の毒な形で教育活動を行わざるをえない状況が続きました。そんな中、令和4年度の教育活動は今までの教育活動に近づける形に舵を切りました。日々の学校生活からわか松祭・音楽発表会に代表されるような学校行事等、一歩踏み込んだ形で行えるよう実践してきました。一刻も早く情勢が好転し、伸び伸びとした教育活動を展開できる日が来ることを切に願っています。

あ・か・ふ・じ・へ
開屋中学校
校長 山田 聡

間もなく令和4年度が終わりです。今年も新型コロナウイルスに翻弄される年でした。世界中に新型コロナウイルスが猛威を振るい3年余が経過しました。この間、社会生活は様々なことが中止・変更を余儀なくされました。当然、学校生活も同様であり、生徒・保護者・地域には気の毒な形で教育活動を行わざるをえない状況が続きました。そんな中、令和4年度の教育活動は今までの教育活動に近づける形に舵を切りました。日々の学校生活からわか松祭・音楽発表会に代表されるような学校行事等、一歩踏み込んだ形で行えるよう実践してきました。一刻も早く情勢が好転し、伸び伸びとした教育活動を展開できる日が来ることを切に願っています。



開屋中学校
校長 山田 聡

頭文字を続けて、校内では「あ・か・ふ・じ・へ」と呼んでおり、校内の至る処にイラスト等を交えて掲示しています。

開屋中学校当たり前五ヶ条とは

- あ…挨拶
- か…感謝
- ふ…服装
- じ…時間
- へ…返事

この五つのことを指しています。爽やかに挨拶を交わすことや、きちんと返事することにより、より良くコミュニケーションをとることが出来ます。

感謝の気持ちを持ち続けることで、周りの人や物に対してのレスポクトする気持ちをもち続けることができます。

時と場に応じた服装や時間を守ることは、身につけておくべきマナーの一つです。

この当たり前五ヶ条は、中学校を卒業後も生涯身につけておきたい、人としてとても大切な資質であると考えています。まさに五ヶ条が当たり前として子どもたちに定着し、無意識のうちに実践できるような力が身につくよう、これからの教育活動を展開していきたいと考えています。



合同演奏会

浜浦小学校浜浦シンフォニー器楽部

部長 6年 須田 愛菜



こんにちは。浜浦シンフォニー器楽部部長の須田愛菜です。先日開催された浜コミ合同演奏会に来ていただいた地域の皆様、関係者の皆様ありがとうございました。コロナ禍で三年ぶりの演奏会でした。練習の制限などがあり、少ない練習時間の中で、当日は五曲演奏できました。私は、人前での初めての演奏で震えましたが顧問の鳥谷先生のおかげでみな笑顔で演奏することができました。通常であれば低学年は、鍵



演奏した曲にたくさんの拍手をいただき、がんばった甲斐がありました。当日は、関屋中学校の演奏が中止になったので残念な気持ちでした。とても聴きたかったです。また来年この演奏会が開催されることを楽しみにしています。浜浦シンフォニー器楽部は令和5年の1月に行われる新潟県ジュニア音楽合奏大会に出場します。一年生から六年生まで十六人でその大会に向けて、楽しく仲良く練習をしています。仲がとて良いので、みんなで息をあわせ合奏し、また、たくさんの拍手をもらえるようがんばります。

演奏した曲にたくさんの拍手をいただき、がんばった甲斐がありました。当日は、関屋中学校の演奏が中止になったので残念な気持ちでした。とても聴きたかったです。また来年この演奏会が開催されることを楽しみにしています。浜浦シンフォニー器楽部は令和5年の1月に行われる新潟県ジュニア音楽合奏大会に出場します。一年生から六年生まで十六人でその大会に向けて、楽しく仲良く練習をしています。仲がとて良いので、みんなで息をあわせ合奏し、また、たくさんの拍手をもらえるようがんばります。

発展を願って

代表 熊木 康博



爽やかな晴天の下、合同演奏会で演奏ができたことを嬉しく思うことができます。ご縁があり演奏することが出来ました、嬉しい限りです。

さて「私たち」にいがたトロンボーンカルテット」はトロンボーンアンサンブルの楽しさを伝え、楽しみながら練習を重ねています。過去の資料をひも



とくと、平成17年には関屋地区公民館の文化祭、平成18年には浜浦小学校の器楽部演奏会のゲスト出演と関わりがありました。

ですので、今回の演奏で3回目となり、ご縁を感じています。これからも合同演奏会のみならずのご発展をお祈り申し上げます。次からお声がけいただけましたら嬉しいですね。

協力団体紹介

浜浦地域の皆様には、日頃から地域課の事業や取り組みにご協力いただき感謝申し上げます。

中央区地域課は、企画、地域振興の2つのグループと、産業文化振興室、万代市民会館からなる部署です。扱っている業務は、自治会・町内会に関することをはじめとして、区だよりの作成や文化・スポーツ、産業の振興など多岐にわたります。これらの業務を通じて、地域の皆様と共に地域課題の解決に取り組むとともに、「特色ある区づくり事業」として、人口減少・少子高齢化が進む「しもまち地域」活性化や、まち歩きやフォトコンテストによる区の魅力の発信、古町芸妓など伝統的産業のPRなど様々な事業を行い、魅力ある地域づくりを進めるための取り組みを行っています。

皆様の地域に於かれましては、長きにわたる新型コロナウイルス感染症の影響により休止を余儀なくされてきた様々な地域の活動について、感染対策を取りながら少

地域活動の再開に向けて

中央区役所地域課
若槻 裕久

少しずつ再開し始めていることと想いますが、特に、地域の祭りやイベントなどが複数年にわたって開催できなかったことで、次世代への継承や取り組みの継続ができなくなることを懸念する声が寄せられています。

このため、市では既存の祭りやイベントなどの実施に必要な用具の購入や修繕にかかる費用を補助することで、様々な地域活動再開の機運を醸成し、さらなる活性化を図るため、「地域の祭り・イベント等用具整備補助事業」の申請受付を令和4年11月より開始しました。

この補助事業は令和5年度までの期間限定で、1団体につき1回まで、かかる費用の5分の4、最大100万円を上限に補助をするものですので、地域活動再開のきっかけとしてぜひご活用いただけます。

(補助金の詳細はQRコード参照)

今後、皆様とともに、安心して健やかに暮らせる活気あふれるまちの実現を目指して様々な取り組みを進めてまいります。



協力団体紹介

日頃から浜浦小学校校区の地域の皆様には、浜浦小学校の児童の行事・活動等についてご協力を頂きまして、大変感謝しております。

今回、浜コミ協だより(第19号)では、今年の浜浦小学校育成会(P.T.A)の活動について紹介させていただきます。

はまなす祭・10月22(土)学校の3・4限の時間帯には「はまなす祭」を開催しました。保護者が、子どもが楽しめる遊びを考え校内に用意、子ども達が各企画を回って楽しむイベントです。

子どもたちは1年生・6年生までの縦割り班に分かれ、引率の保護者と一緒に楽しそうに校内を回っていました。

登下校交通安全指導・朝夕方の子



はまなす祭の時間帯には「はまなす祭」を開催しました。保護者が、子どもが楽しめる遊びを考え校内に用意、子ども達が各企画を回って楽しむイベントです。

浜浦小学校育成会(P.T.A)今年度の育成会活動のご紹介

育成会副会長
國井 元樹

子ども達の登下校時に定期的に通学路に立ち、登下校を見守っています。

信号機のない交差点等では安全に道路を横断できるように交通誘導を行い、見通しが悪い場所は重点的に通勤者との接触等の事故がないように注意指導しています。

また、不審者、ガードレールの破損等、道路の陥没は道路管理者、警察等に連絡する等の対応を行っています。

校区内巡視・9月、10月の放課後の時間帯に子ども達が遊ぶ公園・施設に行き危険がないか確認し、どのような行動をしているか把握しています。危ない遊びをしていないか、お菓子を食べた後のごみが散らかっていないか等、子ども達の公共施設の利用マナーについても巡視を行いました。



子ども達の登下校時に定期的に通学路に立ち、登下校を見守っています。信号機のない交差点等では安全に道路を横断できるように交通誘導を行い、見通しが悪い場所は重点的に通勤者との接触等の事故がないように注意指導しています。

今年度のパートナーシップ事業を振り返って

浜浦小学校地域教育コーディネーター
佐藤愛子・藤本麻由美・小川美月

いつもパートナーシップ事業にご協力いただきありがとうございます。

コロナ禍で地域と学校を繋ぐ役割を果たすことが難しくなりましたが、可能な範囲での学習支援活動や新たな形で地域貢献活動、また三年ぶりに行ったプール授業を通し、ボランティアの方々から多くのご支援をいただきました。少しずつ前へ進めた一年だったと思います。

新たに今年度から「コミュニティー・スクール(学校運営協議会制度)」が始まりました。保護者・地域・学校が一体となり子ども達の成長を支えていく取り組みです。今年度は子ども達が地域の活動の一員となり、地域と連携・協働する活動として、ネムの森を守る活動(松の除伐体験・海岸清掃)や防



子ども達が地域の活動の一員となり、地域と連携・協働する活動として、ネムの森を守る活動(松の除伐体験・海岸清掃)や防



災害教室を行いました。私達コーディネーターはそれぞれの活動でサポートに努めました。こうして地域・保護者・学校が一体となって活動することは活気あるものだと思

学校が元気に、地域が元気に、そして子ども達が笑顔で活気あふれる学校生活を送れるよう、地域とともに歩む教育を進めることができるようこれからも活動を続けていきたいと思います。

今後とも地域の方々のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



地域の皆様と共に

関屋地区公民館
館長 関口 亨

いつも関屋地区公民館をご利用いただきありがとうございます。

さて、皆様ご存じのとおり、昨今のコロナ禍は当公民館にも影響を及ぼし、一時は館全体の休館や活動制限要請等により、皆様の活動においても休止や白粛といった制約を強いられたことは記憶に新しいところです。

しかしそうした中でも、皆様が互いに知恵を出し合い、様々な創意工夫を凝らしながら活動の歩みを止めなかつた姿は、力強い学びへの意欲に溢れており、頼もしさを感じさせるものでした。

そして、今年度は嬉しいニュースがありました。「関屋モーニングサロン」が3年ぶりに復活開催されたのです。

「関屋モーニングサロン」は、地域の課題解決に取り組むテーマを学んだり、参加者同士の交流を図ったりすることを狙いとして長きに渡り続いている講座です。

本講座の最大の特徴として、過去に公民館の事業に参加された地域住民の方々から構成される企画

委員の手で、講座企画の立案から運営までを行っていることがあげられます。

現在は7人の方が企画委員として活動されており、毎年、各回のテーマや講師の選定などをはじめこの地域にとって、何が必要なのか検討を重ねながら講座を組み上げていきます。

こうしてできた講座は、地域のニーズにマッチした内容となり、毎回沢山の方が参加してくださいます。

参加する側から運営する側へ、自らが学習した成果を活かし、地域のために還元していく。これもまた学びの循環です。

関屋地区公民館には他にも、地域の皆様からのご協力により実施している事業が沢山あり、いずれも地域にとっての貴重な学びの場として定着しています。

これからも皆様のお力をお借りしながら、より学びの場を提供できるよう努めてまいりますので、ぜひ皆様も公民館へ遊びにおいでください。



開催 トリットボール大会の

スポーツ振興会
会長 中静 浩一

浜コミ協様のご協賛を頂き、コロナ禍でありましたが三年振りの大会を実施し、子供達の元気な声がグラウンドに響き渡りました。当日(九月十七日)お天気に恵まれ、参加者も大人十八名、浜小サッカーチームの皆さんを中心に十三名が大人に混じり競技を楽しみました。この事業は新潟市が推奨する生涯スポーツのひとつで、パターゴルフに似た競技でいつでもどこでも楽しめるスポーツとして市内の公園、グラウンドで普及が進んでおり、当振興会も年間行事に取り入れております。当日はトリットボール協会の川口会長他役員の皆様から審判を頂き、競技の考案者である北川様から直接ご指導を頂いた後プレーを開始しました。流石子供達の体感はずいぶん早く、あわやホールインワンがでるようなプレーが続出し、和気あいあいの一日でした。



浜浦地区 社会福祉協議会

会長 山口 信三

コロナ禍に物価高、生活支援を必要としている方への大きな支えとなっている「社会福祉協議会」。毎年の会費納入にご協力頂き深く感謝申し上げます。

その現状を申し上げますと、前号でも記載の通り、当浜浦小区の会費納入額は、中央区で最低水準の世帯当り@113円です。因みに、中央区平均は@134円、近隣、有明台小区@147円、関屋小区@120円、鏡淵小区@204円、白山小区@237円、となっております。

(令和4年10月末現在1円未満四捨五入)

会費納入については、戸別毎でなく自治会・町内会で一括して納入されている町内が殆どで、その額は何年間も見直しされず、前例踏襲されているように思えます。是非私達の町内はどうだろうか?役員を中心に、見直し・ご検討を、お願い致します。

一方「地域の茶の間」等、町内のコミュニティケーション作りの為に、「社協」の各種助成事業を積極的に計画・活用し、ウィズコロナに向かう準備に入りたいものです。

民生委員活動のご紹介

浜浦地区民児協
会長 相田 八郎

こんにちは。

浜浦民児協は十九人のチームです。民生委員・児童委員は無報酬のボランティアで厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員に位置付けられています。主な役割といえば、例えば一人住まいの高齢者への友愛訪問、児童、生活困窮者、障がい者等の支援、生活上の問題で、何処に誰に相談していいか等々の困り事や問題を役所の適切な部署や社協、包括センター等と一緒に解決するお手助けをしております。その役割を果たす為、毎月定例会を開催し、会長連絡会での周知や地域における問題等を話し合います。また社協や連合会の研修並びに、浜浦民児協独自の研修では防災センターや柏崎原発等を訪問し、災害発生時における個々の知識等の習得・自己研鑽を図っております。最後に委員は三年に一度改選があり、退任者が出る都度、次の委員を求め各地域の自治会の皆様に多大な協力をいただいております。感謝。

この浜コミ協だよりをお読みになり「私も」と民生活動にご興味のある方の連絡をお待ちしております。

編集後記

事務局長 小池 まゆみ

「浜コミ協だより・第19号」を作るにあたり、昨年はコロナ禍のために事業が開催できず掲載内容に悩みましたが、皆さまのお力をお借りし、ページ数を減らすことなく発行できました。

コロナ禍三年目の今年度は、感染対策をしながらも、事業を開催することができ、皆さまに事業の様子を報告する事ができます。

当たり前のように、大きな声で声援を送りながらのトリットボール大会やフロアカーリング大会、みんなと一緒に合唱する合同演奏会ができる日を待ちながら、コロナと共生しながらコミ協の事業を開催していくためにも、様々な工夫をするともに、参加して頂く皆さまにもご協力頂きながら開催していきたいと思っております。

来年度も大勢の方々の事業への参加よろしくお願いいたします。